

社協だより あさご

朝来市社協

検索

ああ！この地域に
住んでよかった！



上八代営農組合で収穫された農産物を手に民生委員さん等が「見守り・安否確認訪問」



いつの時代も変わらない大切なもの
「地域のつながり・支え合い」

特集：老後危機



安 心 し て 暮 ら し た い



年金の実質減額など「悠々自適」とは言えなくなった私たちの老後。現在年金生活を送られている世代だけではなく、将来年金生活を迎える人たちにとって、さらに厳しい老後が待っているということから他人事とは言えない問題ではないでしょうか？
今回の特集は「老後危機」決して他人事ではない！ あなたの老後は…

高齢者相談の現場では 他人事では済まされない実際の現場

- 年金額は少なく、介護度は重度。子どもさんらの支援が難しくなってきた一人暮らしの方。
 - 同居の子どもさんが定職に就かれず、ご自身の年金が唯一の収入源。
 - 年金額が約3万円程度で蓄えは無く、充たな介護サービスが受けられない一人暮らしの方。
- いつまでも安心して暮らすために介護サービス等の利用は不可欠です。
いずれは皆さんのご家族や身内の方が介護が必要となる可能性もあります。

座談会

「老後」をテーマに市内の30代から60代の4名の方にお越し頂きNHKで放映された「老後危機」を視聴。お話を伺いました。

厳しい老後？

聞き手 皆さんからテレビ視聴の感想をお聞きます。

Dさん 年代別の税金の分配の仕方が厳しくなっている。僕らが30年、40年先を見据えてもどれだけ年金がもらえるか先が見えない。今のままではあかんことがわかってるのに変わらない、悪循環。

Aさん このテレビは、老後がスタートした僕にはすべてが実感できる。心配は二つある。一つは健康面。明らかに10代ごとに体力が落ちてくる。もう一つは金銭面。細かいけど家にいる時間が増えれば光熱費が増えてくる。今、給料10万円あまり。一生懸命働いても年間百数十万円。やっていけないから切詰めて電気を消しまくっている。年金はホンマに他人事と思っていたけ

参加者のプロフィール

Aさん…60歳代(男性)、定年退職後再雇用にて仕事に就かれている。

Bさん…50歳代(女性)、ボランティアにてご活躍中。在宅介護経験あり。

Cさん…40歳代(女性)、市内で子どもに関わる仕事に就かれている。現在子育て奮闘中。

Dさん…30歳代(男性)、会社員。就職を機に朝来市内に移住。奥さんと二人暮らし。

聞き手…職員

ど、実際もらいだしたら、これが生活を支えてくれると実感する。僕は家をリフォームしたからローンを抱えている。ローンの為に年金を充て骨身に試みている。この前、不安やから葬式代のことを考えた。丁度、生命保険の切り替えだったので思わず「それはどんな死に方でも出ますか」と聞いたわ(笑)。このままこの保険に入っていたら葬式代はとりあえずまかなえると分かった。

Bさん 現実を知ったら若い人が嫌にならないかと思いました。こないだまで主人の親を介護してきましたが、義母は年金月3万弱くらいだったんです。介護保険の要介護5だったのでサービス利用料に主人の給料からそっちに飛んでいきました。

介護ってホントにお金がかかりますよね。

も　で　ま　っ　い　！　も　誰

総合相談の現場では

失業、介護負担、引きこもり、ニートなど

複合的な課題を抱えられたケースの相談が近年増加。その実際について総合相談業務の担当者に聞いた。



○全体のケースから

全体に50代、60代の方が多いと思います。相談内容としては離職や失業等による収入減など金銭的な問題が多いです。

一例では離職後、親御さんが健在で両親の年金等で生計を維持されていたが、ご両親の片親が亡くなられたり高齢で介護が必要な状態となられ、経済的に負担が増え当人の生活がひっ迫し、たちまち困窮するケースなどがあります。

○相談者の共通点とは

普段から地域や周囲とあまり関わりが無く孤立がちな方が多いと感じます。関わりがあれば未然に歯止めが効き予防出来たかもしれません。



次の時代の人は、負担出来ないと思う。実母の葬儀も結構な費用がかかりました。住んでいる地域では、年金のみで生活されている方も香典は3,000円となっているので悪いと思う。申し合わせで、みんなで受け取らないという制度にしないと。比較のお金がかからないと言われる家族葬でもお金はかかる。私らは葬儀をあげることができたけど、子ども達の頃にはどうなるかわからない。また年を取ると、葬儀代を残しておこうと貯める方が多いですが、予想以上にかかりますよね。

Aさん 葬儀代を値切る人いないからなあ。割引せえとは言えへん（笑）。

Bさん 社会の制度が変わって経済的に暮らしにくくなった。ある年配の男性の方を見ていると、氣力を失って服装が段々質素になっていく様子がわかるんです。私達の活動が気分転換になってその人の支えになれたらと思っているんです。

お金だけの問題じゃないですね。

大切なのは「生きるチカラ」
未来を担う子ども達へ

Cさん 仕事で子ども達と関わっているけど、「この子達が大きくなるとどうなるんだろう。」と不安になってしまう。『老後は



幼い頃からの教育から』と言いますが、今の時代、子どもは便利なのが当たり前で何でも手に入っちゃう。生活して実際に将来苦労が肩にかかってきた時に「楽しくない」「未来がない」って思わないかと心配なんです。まず、私たちが前を向いて未来を見ていかないと。大切なのは『生きるチカラ』。例えば、どんな事があっても前向きになれるように。そのためには多分学校だけではダメ。親だけでもダメ。地域との絆とか心と心の通い合いとか、そういうのを小さい時からいっぱい経験してもらえたらと思う。

Aさん 今は核家族化で地域のふれあいが少ないし、時には叱られたり、温かく見守ってもらったり…おじいさんやおばあさんの古き良き「しつけ」が届かなくなったり、

日常の中で接することがあまりない。（葬式も葬儀場などで行うので）昔みたいに人が亡くなっていける姿を間近で見なくなってきた。今こういうのがないからいたわる心とかが無くなったと思う。今、色んな面で社会は大きな損をしていると思う。

安 心 し て 暮 ら し た い

○これからの支援

担当者としてその方が地域や周囲から孤立しないためにも、**つながり・つなげる**役割が求められます。このようなケースには地域のつき合いの大切さを改めて感じます。

○メッセージ

普通に生活をされている方であっても何かの障壁（離職や離婚、病気、介護）が重なることにより生活困窮に陥る可能性は誰にもあります。その時にSOSが送れたり、そのSOSをキャッチする地域や周囲があれば…。

障がい者相談の現場では

障がい者（児）相談業務担当者
に話を聞いた。

○全体のケースから

◆仕事はしたいけど…なかなか職場に馴染めず続けられない…

◆これまでの離職経験で、何かミスをしたら、また仕事を辞めることになるのではという不安を抱えてしまう方

◆仕事を着実にこなすほど仕事の責任が増え、責任を果たさなければ解雇されるのではないかという不安や、その重圧に対し



Bさん うちの子は近所のおばちゃんにも育ててもらった。何とか歪まずに地域ぐるみで育ててもらったと思う。

大切なのは「地域のつながり、助け合い」

Dさん 僕は就職氷河期の年代。周りからは正社員になって裕福な生活してるかと思われるだろうがそんなことはない。将来に何が起るか検討もつかないし、不安なことばかり考えてもしょうがない。僕らの老後は不安だからこそ、助け合えるつながりとかを作っておこうと思う。

Aさん 地域のつながりや助け合いを地域で育むこと、すさんだ社会を作らないつてすごく大事。すさんだ中では活発な子どもは育たない。コミュニティも生まれない。その為に、つながり、地域でも「互助の精神」で、ちよつと心配やから見に行ったりの社会であつてほしい。

聞き手 すさんだ社会を作らない、明るい未来。将来のために発想の転換が必要だと思うのですが、今、皆さんに出来ることつてないでしょうか。

Cさん 自分に出来ること、仕事しながら出来ることとして、自分の子どもと周りの子どもたちが幸せと思えるような子育てをしたい。子どもだけを守るんじゃないくて、お互いを守るような。

Dさん さつき話しに出た親の葬式代を出



せるか心配ということもお寺のつき合いとか。周りの目もあるので今のレベルを落とすつてなかなか出来ない。

極論を言えば、社会全体の生活レベルを落として、今の行き過ぎた生活を落とし、あるべき所にお金を循環させることが必要かも知れない。

聞き手 やれるところから少しずつ行う。それが大切ですね。生活改善とか省エネとか。工夫によって。

Cさん うちの父もそれするんですよ。あつちこち消して回る。ちよつと子ども呼んでる間に消されて困ってるんですが、今話を聞いて「そうなんや」って思いました（笑）

Aさん 笑って暮らすのが平和で一番。怒

も　で　ま　っ　い　！　も　誰

て能力以上に応えようと限界を超えてしまおう等

仕事場での人間関係や過去のトラウマ、家庭環境など原因にあるようですが、「ストレス社会」とも言われる現代において障がい者に限らず健全な方も仕事上や家族関係でのトラブル・負担により心の「風邪」をひかれたり体調をこわしたり休息が必要となるケースは多いです。誰でも陥る可能性があると思います。

○これからの支援

決して特別ではない精神や心の問題

精神障がい者のケースの多くは、なかなか周囲には理解されにくく、支援が受けにくい。以前からも本人の病気の問題や家族の問題から、地域や周囲からも孤立しやすい状況であったケースが多いです。これらのケースから、常日頃から地域や周囲と良好な関係性を保つことの大切さを改めて感じます。その「架け橋」となるのも我々の仕事です。

年老いても安心して暮らすための介護サービスや誰にでも陥る可能性がある生活困窮・精神障がいや心の問題。決して他人事ではないと思います。

るより笑った方が平和。人の出会いは「偶然という中に隠された必然」や。僕は子どもや自分を見てくれた人の見本になりたい。夕方ジョギングして下校時の子どもとすれ違ったら挨拶言って、返事があつたら「お帰り」って言うんや。地域からは頼まれごとされたら断らない。断つたら自分の経験も減る。出来へんかったら出来へんかったで「ごめんね」で済むやん。あと嫁さん大事にせんとね。

Dさん 見本になる人いないと腐っちゃいますよね。それと老後をニコニコしながら過ごしたい。周りの人といがみ合いながら老後は過ごしたくないですね。

Cさん 困っても友達がいたら助けてもらったり、窮地になっても救ってくるのは

「人」なのかなって思います。「人」のつながり大切だと思います。

Bさん 自分だけじゃなくて、人のことも考えるようなことが大事。例えば生活の上でいい情報を知つたら、自分だけで持つていないで井戸端会議やちよつとした集まりで他の人に伝えるだけで、いろんな無駄が減るかもしれないし節約できるかもしれない。人とつながつて伝えたり、ちよつとしたことで前向きに進むかも。

最後に…

「老後危機」というキーワードから始まった今回の企画。「もし、あなたが苦しい時、つらい時…そして不安な老後…」そんな時、いつの時代も変わらない「地域」があります。きつと、あなたを支えてくれるのではないのでしょうか。「朝の来ない夜はない」明るい老後に向け、共に支え合い・助け合うことの本当の大切さを今回、改めて考えさせられた気がします。



赤い羽根がつなぐ 活動の輪

～平成27年度地域をつくる市民応援助成事業の助成団体が決定～

審査会を経て、今年度は14団体への助成が決定し、地域の活性化事業やボランティア活動の充実などについて助成いたしました。

その中で、今回2団体の代表者の方にお話を伺いました。

グループ | オカリナ演奏 シンプルトーン

[代表者の松本定之さんにお話を伺いました。]

◎グループと活動状況について教えてください。

A 平成21年に市の公民館講座(生野)でオカリナを習ったメンバーが、「みんなにオカリナの音色を聞いてほしい」という思いでグループを結成したのがきっかけです。

平成22年にお一人暮らし高齢者のつどい「友愛のつどい」で披露したのを皮切りに、色々な催しや地域ミニデイからお声がかかるようになり、今はメンバー10人ほどで福祉施設にも積極的に訪問するようになりました。レパートリーは50曲以上、童謡や歌謡曲、今話題の歌もあります。みなさんが演奏に合わせて楽しそうに歌っておられる姿に私達もやりがいを感じています。



ミニデイに訪問しての演奏



音響設備のテスト風景

◎助成金を活動にどう活かされましたか?

A 音響設備です。広い会場や屋外での演奏になると、音が皆さんに届きにくく、今回音響設備を買わせていただくことで、多くの方に美しいオカリナの音色をお届けできればと思っています。

◎最後に共同募金の配分を受け、「ありがとうメッセージ」をお願いします。

A これからはいろいろなところで演奏できるようになり、大変ありがたいです。

ますます頑張っていきます。また、共同募金の配分を直接に受け、今まで以上に共同募金の大切さや必要性を認識することができました。他の人にも伝えていきたいと思います。

12月5日夕方の
生野イルミネーションロードの
点灯式で演奏する
予定です
ぜひオカリナを聴きに
いらしてください。

◎助成をどのような活動に活かされていますか?

A 野間区寺子屋活動をすることにより、高齢者の存在感を高め、世代間の交流を目的に助成の申請をしました。助成が決定してからまず、写真展、芋煮会、輪投げ大会を同時に開催しました。野間で採れた新米でおにぎりを作って参加者に振る舞い、喜ばれました。

例年以上に高齢者との交流ができ、話しも弾み、助成いただいたことに感謝しています。

今後は、高齢者の方を講師として、しめ縄作り、国語や算数の講座などを開催し、その後にお茶会などを催すことによってミニデイに移行することができるのではと考えています。



写真展

グループ | 山東町野間区

[区長の福井義明さんにお尋ねしました。]



介護施設・障がい者施設等でのタブレット端末の活用

効果のほどは!? ～試験的取り組みについて～

端末自体がノートパソコンよりコンパクトで場所を取らず、持ち運びが便利。いつでもどこでも気軽にインターネットのサービスを使用できることで見かけることが多くなった「タブレット端末」。情報化時代とともに介護・障がいサービスの1つの手段として、その活用方法について介護現場(宅老所ふらっと)でご利用者を対象に試験的な試みを行った。



宅老所ふらっとでの介護職員の感想

- 認知症の度合いに応じた様々なゲームがあり、皆さんが楽しんでおられます。皆さん非常に興味を持たれているようでした。今後、施設での活用は非常に有効だと思います。
- 1回目は画面にタッチすることもなかなかでしたが、2回目以降は自然と慣れてこられるのがわかりました。「ハイテク機器＝難しい」という先入観を改めなければと思いました。
- 難しいゲームなども積極的に取り組まれ、個々のご利用者の可能性を感じました。



既に使用されている障がい者施設では…

障がい者施設で実際に既に使用されているご利用者がおられます。担当職員にタブレット使用状況について伺いました。

ここがポイント

絵を描くことがとても好きな方。タブレットの中に、お絵かきソフトを入れておられ、このご利用者が描かれた絵を保存させて頂いています。自身の作品として記録することが可能です。

ある変化が

- もともと、この方はパソコン操作が得意。タブレットを使用するために、たとえ短い時間でも集中できる時間が持たれるようになりました。



- さらに、タブレットを充電する時間を待てるようになりました。
- 意思疎通が苦手な方ですがタブレットを使用したい時は、職員に声を掛ける等少しずつされるようになりました。

試験的に取り組まれた高齢者施設での反応、既に使用されているご利用者がおられる障がい者施設での状況などを踏まえて今後、サービスの手段の一つとして検討していきたいと思います。

YOU・愛センターのサービスが **11月から更に** 充実します!

あさごふれ愛の郷YOU・愛センターでは、障がいがある18歳以下の児童・生徒を対象とした福祉サービス「放課後等デイサービス」事業を実施しています。

ご利用者様、ご家族様の支援体制の充実を目的とし、下記のように利用時間・送迎体制の変更をします。

サービス提供時間の変更について

現行サービス 平日／13:00～17:00
休日／9:00～17:00



変更後

平日／13:00～18:30まで
休日／9:00～18:30まで

時間を延長しますので
安心してご利用いただけます!



送迎サービスの変更について

現行サービス お迎え／ご自宅もしくは学校まで
お送り／ご家族様のお迎えによる

変更後

お迎え／現行通り
お送り／ご自宅までのお送り



お忙しい時間帯。
安心してご自宅までお送りします!



● 問い合わせ先／あさごふれ愛の郷YOU・愛センター(原口) TEL.079-670-6720 | お気軽にお問い合わせください。|

あさごふれ愛の郷だより

今年も大きな大根が
収穫できますように…

今年もあさごふれ愛の郷ではおいしい大きな大根が出来ますようにと願いをこめて大根の種まきを行いました。

11月中旬に収穫して生大根と千切り大根に加工し、道の駅等皆さんの所へもお届け出来る予定です。

柔らかくて甘い「くらま大根」をぜひご賞味ください。



新商品たけじいクッキー



竹田城跡イメージキャラクターたけじいクッキーを発売。

従来のクッキーとはまた違った食感の型抜きクッキーをぜひお買い上げいただきご賞味ください。6枚箱入りで600円(税込)です。

購入希望の方はお電話をいただきましたら準備させていただきます。

大根作業ボランティア大募集

ご利用者さんとともに気持ちいい汗を流しませんか?



間引きや大根引き、千切り作業等をお手伝いいただける方、募集しています。

ご協力よろしくお願いします!

オリジナルクッキー
好評販売中

お客様の
いろんなニーズに
お応えします



あさごふれ愛の郷かがやきでは毎日ご利用者さんと職員が丸となってクッキー作りの作業をしています。最近ではのし紙対応の箱入りや冠婚葬祭用のギフトとしてもたくさんの方から注文をいただいています。値段や内容もご希望にお応えしますのでぜひご注文ください。

●連絡先／あさごふれ愛の郷 かがやき(西垣) TEL.079-679-4153

ご利用者様の想いをのせ…

オリジナルあおぞらカレンダー
発売中!



手すきの紙の風合いが
とても素敵です。

「毎年、カレンダーを楽しみにしています」との声を沢山の方々からいただく中、みんなで力を合わせて平成28年オリジナルカレンダーを作成しました。

紙になるまでの工程では、今年は段ボールを漉きこみ一枚一枚丁寧に作り上げています。一年を通して手すきの紙の温かみを感じていただければ嬉しいです。

カレンダーの花や鳥や文字、表紙になっている申の切り絵は「あさごふれ愛の郷あおぞら」に通所されているご利用者様の作品です。

ぜひ、お買い求めください。

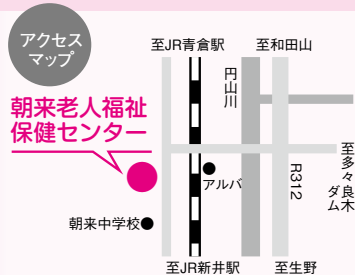
●連絡先／あさごふれ愛の郷 あおぞら(今井・小野山) TEL.079-677-1613

まだ間に合う

成人式 振袖

平成
28年

数多くの中から
お気に入りの一着を!



問合わせ先

朝来地域センター

TEL.079-677-1606 FAX.079-677-0436

留袖などその他、多数商品を揃えておりますので、お気軽にお越しください。心よりお待ちしております。

時間
〈9:00~17:00〉
土・日曜・祝祭日除く

場所
朝来老人福祉保健センター
(朝来中学校体育館北隣)

レンタル料
42,000円~68,000円
※振袖・帯・裾・帯揚・帯締・重ね衿を含んだ
消費税込の価格です。

小物のみの貸出も行っています!

帯・帯揚・帯締・伊達衿 4,000円

帯のみの場合…………… 3,500円

振袖をご予約された方に
もれなく“足袋”をプレゼント



「二十歳」の最高の思い出に。

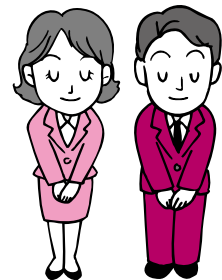


クリーニング不要で手間いらず。そのまま返却OKです!

台風18号 による 大雨等災害義援金 を募集しています

中央共同募金会では、台風18号による大雨等災害義援金を受け付けています。

今回の災害は、栃木県、茨城県、宮城県等の、関東・東北地方などの複数県に及ぶ大きな災害であったため、中央共同募金会が義援金を募集されている県を代表して義援金を募っています。お預かりした義援金は被災県の被災状況に応じて按分し、全額、義援金募集をしている県共同募金会を通じて被災者に届けられます。



●義援金募集期間 平成27年11月30日(月)まで

●義援金募集方法 右記口座へ直接振り込み

■三井住友銀行 東京公務部 普通 0162529
名義 福)中央共同募金会 台風大雨災害義援金

困った時はお互いさま

災害ボランティア登録者募集!

災害はもはや他人事ではありません。本会では、自然災害など多くの手助けが必要な時に、ご協力いただける方の登録を進めています。現在、13名の方に登録していただいています。



まずは登録 災害発生

※あくまでもボランティア活動であり、活動への参加は、強制的なものではありません。また、学生の方も大歓迎です! 奮って、ご応募下さい!

●問い合わせ・お申込み/総合支援課または各地域センターまで

ヒラキ株式会社 靴まつり 多額のご寄附をいただきました。

ヒラキ株式会社様主催の靴まつりが8月30日、生野事業所で開催されました。

この靴まつりは、靴に対する感謝の気持ちとお客様への感謝の気持ちを込めて開催されています。今年で10年目を迎えた靴まつり。早くからお客様が並ばれ、盛況ぶりが伺われました。



今年も社会貢献活動として、朝来市の福祉増進のためにとご寄附をいただきました。同社の取り組みとご厚志に心から感謝いたします。

ご寄付いただいた皆様の善意にお応えできるよう、有効に活用させていただきます。

善意銀行だより

平成27年8月1日～平成27年9月30日

生野

- 供養預託
- 金銭預託
 - ・ 2区 足立 静子 (亡夫)
 - ・ 6区 藤和 智 (亡妻)
 - ・ 小田和 岡 和義 (亡母)
- 善意の預託
- 金銭預託
 - ・ 匿名1件 (車椅子借用礼)
- 物品預託
 - ・ 黒川 竹村 政雄 (野菜)
 - ・ 匿名1件 (介護用品)

和田山

- 供養預託
- 金銭預託
 - ・ 和田 大槻 裕人 (亡父)
 - ・ 竹ノ内 仲村 剛 (亡父)
 - ・ 和田山上町 大槻 聡 (亡母)
 - ・ 駅北 椿野 裕記 (亡祖母)
 - ・ 立ノ原 城下 建 (亡母)
 - ・ 白井 衣川 好弘 (亡父)

- ・ 竹田新町 藤井 善正 (亡父)
(介護用品)
- ・ 竹田新町 平位 剛 (亡父)
- ・ 久留引 藤井 太郎 (亡母)
- ・ 城南台 新田 勝志 (亡父)
- 善意の預託
- 物品預託
 - ・ 白井 菱沼 早苗 (介護用品)

山東

- 供養預託
- 金銭預託
 - ・ 上ゲ町 谷村 巧 (亡父)
 - ・ 金浦 三宅 哲次 (亡義母)
 - ・ 清水町 酒井 克彰 (亡父)
 - ・ 溝黒 木村 伸平 (亡母)
 - ・ 越田 垣尾伸二郎 (亡父)
- 善意の預託
- 金銭預託
 - ・ 山東民生委員・児童委員協議会 (2件)
 - ・ 匿名1件 (松葉杖借用礼)
- 物品預託
 - ・ 矢名瀬下町 但馬西組寺庭婦人会

- ・ 川原町 藤尾 泰彦
(エアマット、車椅子等)
- ・ 金浦 三宅 勝 (野菜)
- ・ 金浦 波多野好一 (野菜)
- ・ 山蔵 高橋糸み子 (介護用品)

朝来

- 供養預託
- 金銭預託
 - ・ 石田 池野 隆俊 (亡母)
 - ・ 納座 和田 修平 (亡祖父)
 - ・ 山口 山下 昇 (亡妻)
 - ・ 新井1区 羽淵 京子 (亡夫)
 - ・ 羽淵 秋山 章二 (亡父)
- 善意の預託
- 金銭預託
 - ・ 木村医院職員一同 (2件)

その他

- 物品預託
 - ・ 「プルタブで車いす運動」賛同の皆様 (プルタブ220kg)
- (敬称略・順不同) ※名前、預託内容、金額等については、申込者に承諾をいただいております。

朝来地域センターからの お知らせと お願い

隣接する朝来学校給食センターの解体工事に伴い朝来地域センター及び朝来老人福祉保健センターへお越しの皆様にはご不便をお掛けします。ご理解並びにご協力をよろしくお願いいたします。
なお、工事終了は来年1月末の予定です。
※駐車場が狭くなり駐車出来ない場合がございます。その場合は朝来体育館駐車場に駐車頂きますようお願いいたします。

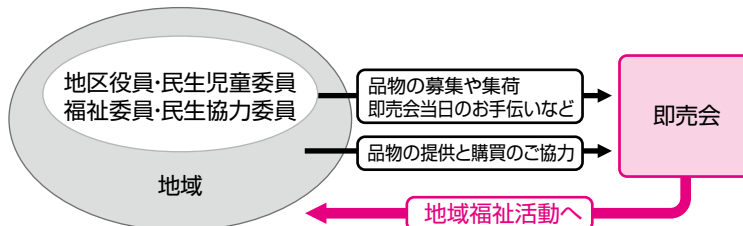
今年でなんと53年！

地域のちからに感謝 福祉バザー「愛の即売会」

福祉バザー「愛の即売会」は、今年で53年目を迎えました。品物の提供や購買に協力を地域の方々、即売会開催のPR、品物の募集や集荷、即売会当日のお手伝いなど、地区役員をはじめ民生児童委員・福祉委員・民生協力委員の皆さんにご協力をいただき、継続した即売会となっています。多くの地域の方々に支えられ実施できることに感謝いたします。

この即売会での売上は、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を進める上での財源として、とても大きな力となっています。

ご近所お誘いあわせの上、お越しください。



市内各地の秋祭りも盛大に終わり、色鮮やかな季節から冬へと、季節は駆け足で過ぎて行きます。そして竹田城跡では雲海シーズンを迎えました。登って包まれるのもよし、周囲から眺めるのもよし。そして、かがやきの「たけじいクッキー」を買うのもこれまたよし。

ところで、人生初めての車通勤を始めて2年余り…そして冬の山東への通勤は今シーズンが初めてです。雪が多いと聞きますが、さてどんな冬になるのでしょうか…。